



職場の破壊的なシフトへの対応

ビデオによるリモート作業の方法と
国境なきオフィス

ロジクールが主催

FROST & SULLIVAN
The Growth Pipeline™ Company

目次

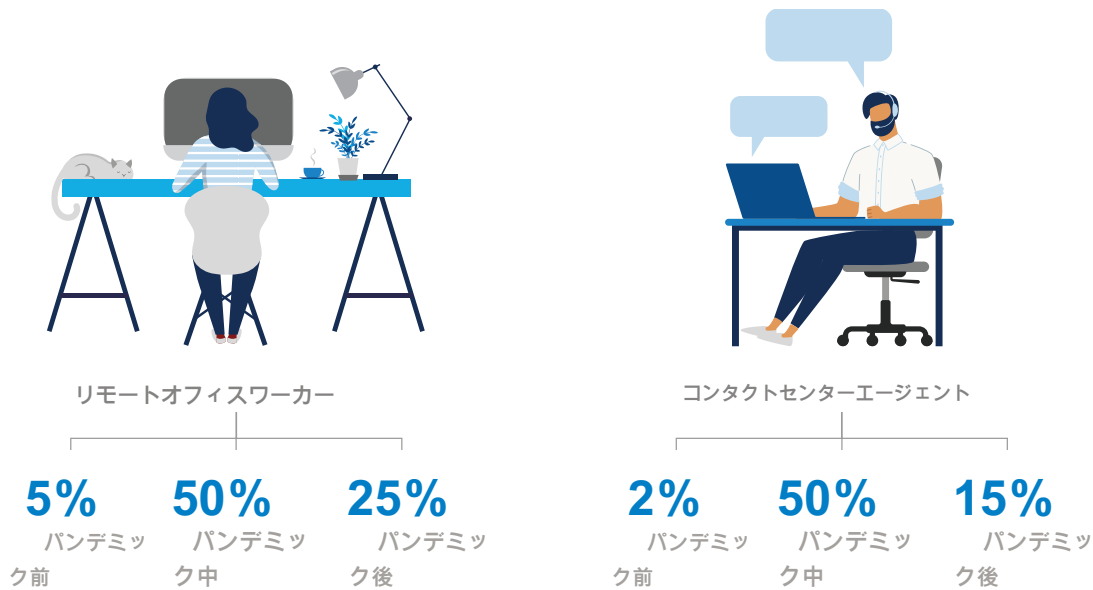
前書き	3
の新しいノーマルヒンジ 人とテクノロジーの交差点.....	4
仕事の未来と変化する職場.....	5
明日の仕事の準備.....	6
ビデオコラボレーションへの投資 リモートワーカーを支援.....	6
ITが不可欠-5つの重要な成功 効果的なコラボレーションの要因.....	8
次のステップ—労働者が取り残されない.....	10

前書き

パンデミック後の時代の未来の職場を視覚化する組織は、破壊的な変化への準備を進めています。近年、グローバル化、自動化、デジタル化の進展により、仕事の性質、職場、労働力が変化しています。国境なき組織の出現はまた従業員が彼らが働く場所をますます選択することを意味します。仕事はもはや「仕事」や物理的な場所ではありません。時間や物理的な境界が定義されていない継続的なタスクになり、私生活とシームレスに統合されています。COVID-19は、これらのトレンドの重要なインフルエンサーおよびアクセラレーターになります。

グローバルパンデミックが発生する前、ビジネスリーダーは仕事の将来に備えるために急速なデジタル化をますます受け入れてきました。多国籍企業や中小企業から教育機関や医療施設まで、COVID-19はすべての組織を予想よりも早く未来へと押し込みました。

リモートワーク：新しい通常



出典：Frost & Sullivan

COVID-19は、人々の生活や働き方を永遠に変える、未来の仕事の破壊的な触媒となるでしょう。

世界中の組織が革新的な戦略とデータ主導の洞察を採用して、従業員が安全かつ実用的な方法で仕事を再開できるようにするにつれ、遠隔地での仕事とオフィスへの時間差の混在が新たな現実になります。ビジネスリーダーと従業員は、組織を次の正常な状態に備えるための幅広い職場変革を十分に受け入れる必要があります。問題は、彼らはその準備ができているかということです。

人と技術の交差に関する新しい通常のヒンジ

パンデミック後の世界をナビゲートすることは、人とテクノロジーという2つの重要な要素に帰着します。従業員が在宅勤務（WFH）に長時間シフトするなどの抜本的な変化を経験した場合、時として制限された騒々しいスペースで、それは簡単ではありません。多くの場合、非生産的で効果がありません。デジタルコラボレーションテクノロジーにより、分散した作業チームの関与とつながりを維持しながら、この移行をスムーズに行っています。WFHへの移行により、世界中のユーザーが生産性の急上昇を報告しています。調査データは、平均して、遠隔地の従業員はオフィスで働く従業員と比較して、毎月1.4日、~~または調査では8日~~回答者の61%が勤務時間を勤務地の柔軟別の調査では、回答者の85%が、勤務時間と勤務地の柔軟性が向上した結果、ビジネスの生産性が向上したと述べています。²²

進行中の危機は2つのことを証明しています。人々は自宅から効果的に仕事ができることと、次世代のコラボレーションツールに投資することで、接続を維持し、ビジネスの継続性を可能にすることです。

分散した労働力には、物理的なオフィスの同僚と可能な限り近くにいるクラス最高のコミュニケーションが必要です。チームチャット、ビデオ、コンテンツのコラボレーションは、いつでもどこでも仕事の中心となります。

ITの意思決定者とビジネスリーダーは、次の5つの重要な優先事項に焦点を当てることにより、急速に展開する新しい作業順序に適応するために、一貫したアプローチをとる必要があります。

- 近い将来に目を向ける-リモート作業を標準的な運用手順に長期的に統合します。
- 仮想チームカルチャーを構築する-リモートワーカーを引き付けるパーソナルコラボレーションツールに投資することで、スマートワークの採用を加速します。
- ユーザーのサポート-効果的なリモート作業のためのユーザー教育とベストプラクティスを提供します。
- かつてないスケーラビリティを確保-ハイパースケールクラウドに投資し、通信デバイスとクラウドサービス全体でテクノロジーを取得するための標準化を実装します。
- ガバナンスとセキュリティの確保-ユーザーとワークフローの管理性と監視を強化することにより、組織のコンプライアンスとセキュリティ体制に対するWFHの影響を評価します。

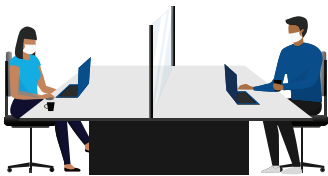
1. <https://www.airtasker.com/blog/the-benefits-of-working-from-home/>

2. 出典：IWGグローバルワークプレイス調査

仕事の未来と変化する職場

代替の机の座席や厳密に割り当てられたワークスペースから一方向の歩道、衛生化されたオフィス、より健康的な空気循環システムまで、地震の変化により、企業は標準的な作業慣行を再考する必要に迫られています。新しいエコシステムは、オフィスでの5日間の占有を必要としません。ハイブリッドオフィスの出現により、一連の場所、タスク、チームにわたる作業が再形成されるため、従業員はホームオフィスから物理的な職場に簡単に移行できます。

仕事の未来を再構築する強力な力



新しい職場

- パーティションと可動壁を備えた再構成されたオープンオフィス
- 机の間隔を空けて調整された床プラン
- 占有が減少したオフィスおよび会議室
- 非接触会議室の登場
- 新しい離隔プロトコルに対応するための不動産拡張-会議室の増加
- ますます分散するチームを接続するためのあらゆるスペースのビデオ



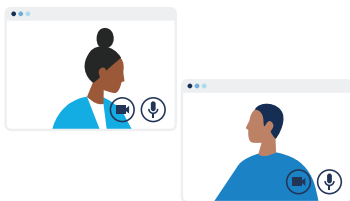
新しい労働力

- 集中型組織から分散型組織へのシフト
- 機能横断的で自己組織化された小さなチームを持つフラット組織
- ハイブリッド労働力、請負業者、ギグ労働者、フリーランサー
- アジャイルプロセスを備えた小規模プロジェクト
- 従業員の幸福と目的への新たな焦点



ハイブリッドオフィス

- 長期WFHプログラム
- 時差勤務スケジュール
- ニーズに基づくオフィスの存在
- リモート操作と運用回復力の必要性
- シームレスなワークライフ統合



テクノロジーとデータ主導の作業

- 旅行制限およびその他のビデオ会議
- 職場と会議室の占有率、ユーザーの行動、テクノロジーの使用状況を追跡するAIと豊富な分析
- ハイブリッド作業を容易にするユーザー優先のアプリとデバイス
- クラウドベースの統合された統合通信
- 新しいサプライチェーンとコスト/運用の最適化
- 確立されたワークフローの再考—リモートアクセス/ビデオインタラクションへのシフト

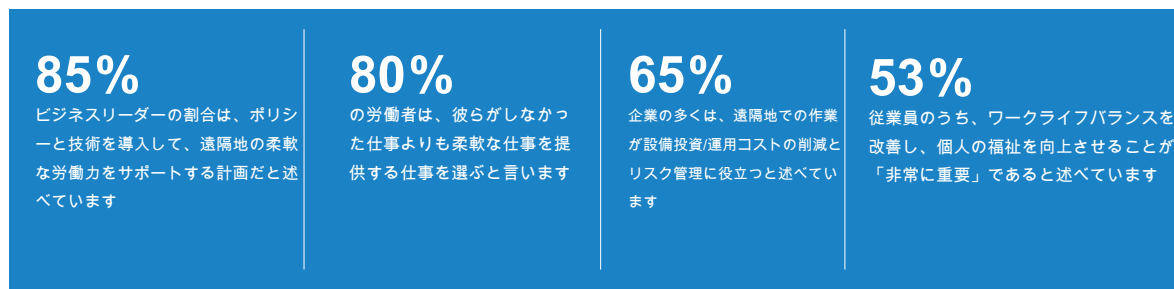
Source : Frost & Sullivan

明日の仕事に備える

明日のワークフローは大きく異なります。人事部門にとって、それは新しいリモートワークポリシーの伝達、ビデオインタビュー、仮想オンボーディングとトレーニングの実施、従業員の士気とエンゲージメントのための仮想ウェルネスプログラムの実装を意味します。売り上げの面では、対面でのクライアントの訪問が減り、ビデオインタラクションと仮想デモが増えます。マーケティングに関しては、リードとエンゲージメントを構築するために、デジタルマーケティングとより多くのマーケティングウェビナーへのシフトを加速することを意味します。リストは無限大です。結論：ビジネス、教育、ヘルスケアのあらゆる側面が変化し、デジタル化の新しい時代へと私たちを突き動かします。

出張制限と制限された社内のプレゼンスは、新しい標準になります。そして、旅行が戻ったとき、それは大きく異なって見えます—航空会社が無数の新しい安全を導入しているので、それはより多くの時間と面倒になります。これまで以上に、ビジネスユーザーは旅行よりもビデオ会議の効率を好みます。

リモート作業への急速な移行は、テクノロジーの採用とユーザーの期待に消えない影響を与えます。



出典：デル、ギャラップ、IWG

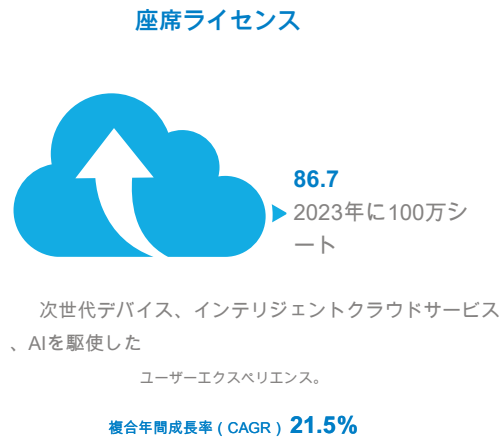
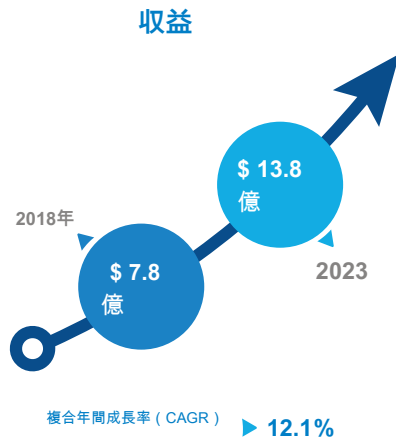
オフィスへの通勤時間をなくし、ワークライフバランスを改善し、最適な時間に集中して作業できる能力は、リモート作業の多くの利点の1つです。さらに、オフィススペースと運用コストがすぐに節約されます。また、ギグワーカー、フリーランサー、請負業者、および地理的に異なる従業員にまたがる人材プールの拡大を支援します。

リモートワーカーとオフィスワーカーの両方のバランスをとることは、ますます多くの企業にとって現実になります。その結果、企業は、より新しく魅力的なコミュニケーション方法を見つける必要があります。今こそ、分散した場所やチーム間での豊富なやり取りを可能にする最先端のコミュニケーションおよびコラボレーションソリューションに投資する長期的な戦略を構築する時です。

ビデオコラボレーションへの投資は、リモートワーカーを支援します

自宅で仕事をすることは、従業員が人間のコミュニケーションの力を犠牲にし、豊かな対面のやり取りを忘れるべきだという意味ではありません。今日の多くの主要組織にとって、ビデオ会議は重要なコミュニケーションツールになっています。ビデオ会議の採用は急速に拡大しています。

動画の採用が好調



出典 : Frost & Sullivan

経営幹部レベルの意思決定者に対する最近のFrost & Sullivanの世界的な調査では、ビデオ会議のヘビーユーザーは、製品イノベーションが6倍速く、カスタマーエクスペリエンスが5倍向上し、ライトユーザーよりも意思決定が6倍加速していると報告しています。



出典 : Frost & Sullivan

同様、ビジネスパートナー、顧客との協力関係を維持することは、ビジネスの革新と成功のまさに構造です。最新のビデオ会議は画期的なものであり、リモートワーカーや分散したチームが顔を見ながら話し合ったり、ファイルや画面を共有したり、ホワイトボードのアイデアを共有したりできます。ただし、これまで、リモートワーカーがアクセスできるテクノロジーは、現代のオフィスで行われてきた進歩に追いついていません。リモートワークは伝統的に、「十分な」通信が許容される妥協された環境と見なされてきました。

リモートワーカーは、最新の会議室で慣れているのと同じ効果的で手間のかからないビデオ会議エクスペリエンスを期待しています。これは、展開が簡単で使いやすく、クリックするだけの高品質でスムーズな会議です。

在宅勤務の従業員は、より優れたコラボレーションエクスペリエンスを通じてつながりを維持したいと考えています。新しい働き方を採用しない企業は、新しいサプライチェーンとの関係を構築できず、従業員間のより良いコミュニケーションで繁栄する創造性と生産性を見逃し、俊敏性と革新性が低下します。

ITが重要-効果的なコラボレーションを実現するための5つの重要な成功要因

COVID-19は世界中の組織に短期間でリモート作業に切り替えることを余儀なくさせました。多くの組織にとって移行はかなりのうまくいきましたが、ITおよびビジネスのリーダーは目に見えないいくつかの落とし穴を発見しました。一貫性のあるリモートワーク実装ポリシーは、アクセシビリティ、セキュリティ、および管理性に広範な影響を及ぼします。必要なコミュニケーションツールを提供するだけでは不十分です。移行を成功させるには、明確で長期的なテクノロジー実装ガイドラインと継続的なサポートも必要です。組織がどのように古い作業方法に戻るかを知るのは時期尚早ですが、ビジネスリーダーは先を見据えて準備する必要があります。ITおよびビジネスリーダーは、労働者の健康と安全を確保することに加えて、摩擦のない作業を可能にする次の主要な原則に焦点を当てる必要があります。

1

組織全体でリッチなコラボレーションにアクセスできるようにします。

- **生産的な個人コラボレーション** – 疲労を最小限に抑えながら、生産性の高い作業を可能にするように設計されたすべての技術的必需品を使用して、デスクをセットアップする従業員を支援します。これらには、快適な人間工学に基づいたマウスとキーボード、高品質のビデオ会議用の外部Webカメラ、騒々しい家庭環境やオフィス向けのノイズキャンセリングヘッドセットが含まれます。

- **スマートな会議室体験** – 会議室は、簡単にアドホックで機敏なコラボレーションを促進する必要があります。オートフレーミング、バックグラウンドノイズ抑制機能を備えたインテリジェントオーディオ、ワンタッチで参加できるインスタントコントローラー、インスタントコンテンツ共有用のデジタルコントローラー、卓越したスマートなケーブル配線を備えた高品質の会議カムを中心とした最新の会議室テクノロジーに投資してください部屋は散らかっています。高価な専用機器や複雑な構成を必要とせず、簡単に設置できるソリューションを選択してください。

- **Any-to-Anyコミュニケーション** – ボーダーレスな今日の仕事では、豊富な社内外のコラボレーションが不可欠です。ITは、会議室の会議カメラとオーディオデバイスが密接に統合され、Google、Microsoft、Zoomのようなインテリジェントクラウドサービス向けに構成されていることを確実にすることにより、将来を見据えた投資を行いながら、全体的なセキュリティフレームワークを提供することで、テーブルの賭けとなっています。

2

サポートと一貫したユーザーエクスペリエンスを確保する – ITは、包括的なガイドラインと、必要な技術を習得するための手引きをユーザーに提供する必要があります。リモートワーカーは、従業員が自宅とオフィスの二重の作業環境のバランスをとるように、包括的なITサポートとすべての会議環境とスペース全体で一貫したユーザーエクスペリエンスを可能にする最高のオーディオビデオデバイスとクラウドサービスを取得する必要があります。

3

前例のないスケールを実装する – 組織が新しい離隔ポリシーに合わせて調整し、会議室の収容人数の制限を実装する場合、ITリーダーは施設のマネージャーと他チームと連携して、より多くの会議スペースに投資できるようにする必要があります。会議室とビデオ会議の数が増えると、ITはビジネスニーズの拡大に応じてスケールアップとスケールダウンが可能なソリューションを慎重に選択し、品質に妥協することなく価値を提供する必要があります。

4

統合された管理と分析を活用 – 会議室の数が増え、リモート作業が柔軟に拡大するにつれて、リモートアップグレードを含むリモートの管理と監視、および家、オフィスのデスクトップ、会議室全体の潜在的な問題の解決のために、ITが単一の窓ガラスにアクセスできることが重要です。およびBYOデバイス。さらに、データ駆動型の深い洞察は、会議室の問題をリアルタイムで可視化し、会議に影響を与える前に問題を解決できるようにしながら、ITが会議室の使用状況や物理的な距離などのファセットを管理するのに役立ちます。

5

AIの力を利用する – AI主導の機能強化により、私たちの働き方が変化しています。スマートオートフレーミング、仮想バックグラウンド、アダプティブオーディオ、自動トランスクリプトなどの機能により、最も困難な環境にいるリモートワーカーは、プロのように見えるだけでなく、自信を持って会議を行うことができます。

次のステップ-後ろにワーカーがいません

変化はしばしば新しい機会をもたらす、予期しない方法でイノベーションを促進します。私たちの道に来る大きな混乱があります。遠隔作業はここにとどまり、これまで以上に、私たちの作業方法の不可欠な部分になります。組織は、ユーザーとパフォーマンスに重点を置いた作業環境とコラボレーションツールの選択肢をユーザーに提供できるように、今すぐ準備する必要があります。ビデオコラボレーションは、ますます細分化された労働力をまとめる接着剤です。従業員、顧客、パートナーをより良く結びつけ、全員を同じページに保つだけでなく、より俊敏で効率的で持続可能なビジネスを構築します。

職場全体をビデオ対応にする必要性がかってないほど高まっています。妥協のない、豊富なビデオコラボレーションエクスペリエンスにより、自宅にいてもオフィスにいても、作業員が取り残されることがなくなります。以下を提供する先進的なテクノロジープロバイダーを特定、提携、進化させます。

- **使いやすさ** 卓越したユーザーエクスペリエンスを備えています。
- **費用対効果** 組織全体のデジタル変革のために。
- **柔軟性と規模** ビジネスニーズに合わせて進化します。
- **投資保護** 任意のクラウドプラットフォームで作業する。
- **一貫したユーザーエクスペリエンス** すべての会議環境とスペースにわたって。

クラス最高のビデオとコンテンツのコラボレーションは、デジタルトランスフォーメーションの基礎となり、イノベーション、意思決定、市場投入までの時間を短縮します。ビジネスリーダーやITの意思決定者にとって、今や仕事の場所を問わず、すべての労働者とすべてのスペースでビデオの力を解き放ち、ビジネスを再発明し、競争上の優位性を生み出す機会が今あります。

次のステップ

- ① グローバルチームとの会議をスケジュールする ソートリーダーシップを体験し、あなたのアイデア、機会、課題をディスカッションに統合します。
- ② このホワイトペーパーで取り上げたトピックについて詳しく知りたいですか？ 877.GoFrostに電話して、興味のある論文を参照してください。アナリストから連絡を差し上げます。
- ③ 私たちをご覧ください デジタル変革 ウェブページ。
- ④ 私たちのいずれかに参加 成長イノベーションとリーダーシップ (GIL) 隠れた成長の機会を発掘するイベント。

シリコンバレー

3211 Scott Blvd Santa Clara,
CA 95054 Tel 650.475.4500
Fax 650.475.1571

サンアントニオ

7550 West Interstate 10 Suite 40
0 San Antonio, TX 78229 Tel 210.348.1000
0.348.1000 Fax 210.348.1003

London

3階-5号館、チズウィックビジネスパーク566チズウィックハイロードロンドンW4
5YF Tel +44 (0) 20 8996 8500
Fax +44 (0) 20 8994 1389

✉ myfrost@frost.com

☎ 877.GoFrost

🌐 <http://www.frost.com>

ロジテックについて

Logitechは、人々の日常生活の中で日常的に使用されている製品を設計し、関心のあるデジタル体験にそれらを結び付けています。35年以上前に、Logitechはコンピューターを介して人々をつなぎ始め、現在は音楽、ゲーム、ビデオ、コンピューティングを通じて人々をつなぐ製品を設計するマルチブランド企業です。Logicoolのブランドには、**ロジテック**、**究極の耳**、**ジェイパード**、**青いマイク**、**ASTRO Gaming** そして **ロジテックG**。1981年に設立され、スイスのローザンヌに本社を置くLogitech Internationalは、SIX Swiss Exchange (LOGN) およびNasdaq Global Select Market (LOGI) に上場しているスイスの公開企業です。ロジテックを見つける www.logitech.com、[会社ブログ](#) または [@Logitech](#)。ロジテックの最新のビデオ会議ソリューションのポートフォリオの詳細については、次のWebサイトをご覧ください。 www.logitech.com/video-collaboration

フロスト&サリバンの

Growth Partnership CompanyであるFrost & Sullivanは、クライアントと協力して、今日の市場参加者を成功させたり壊したりするグローバルな課題と関連する成長の機会に取り組む先見の明のあるイノベーションを活用します。50年以上にわたり、私たちはGlobal 1000、新興企業、公共部門、投資コミュニティの成長戦略を開発してきました。あなたの組織は、業界の融合、破壊的テクノロジー、競争の激化、メガトレンド、画期的なベストプラクティス、変化する顧客のダイナミクスと新興経済の次の深遠な波に備えていますか？

許可に関する情報については、Frost & Sullivanと書いてください

。

331 E. Evelyn Ave., Suite 100 Mountain View, CA 94041